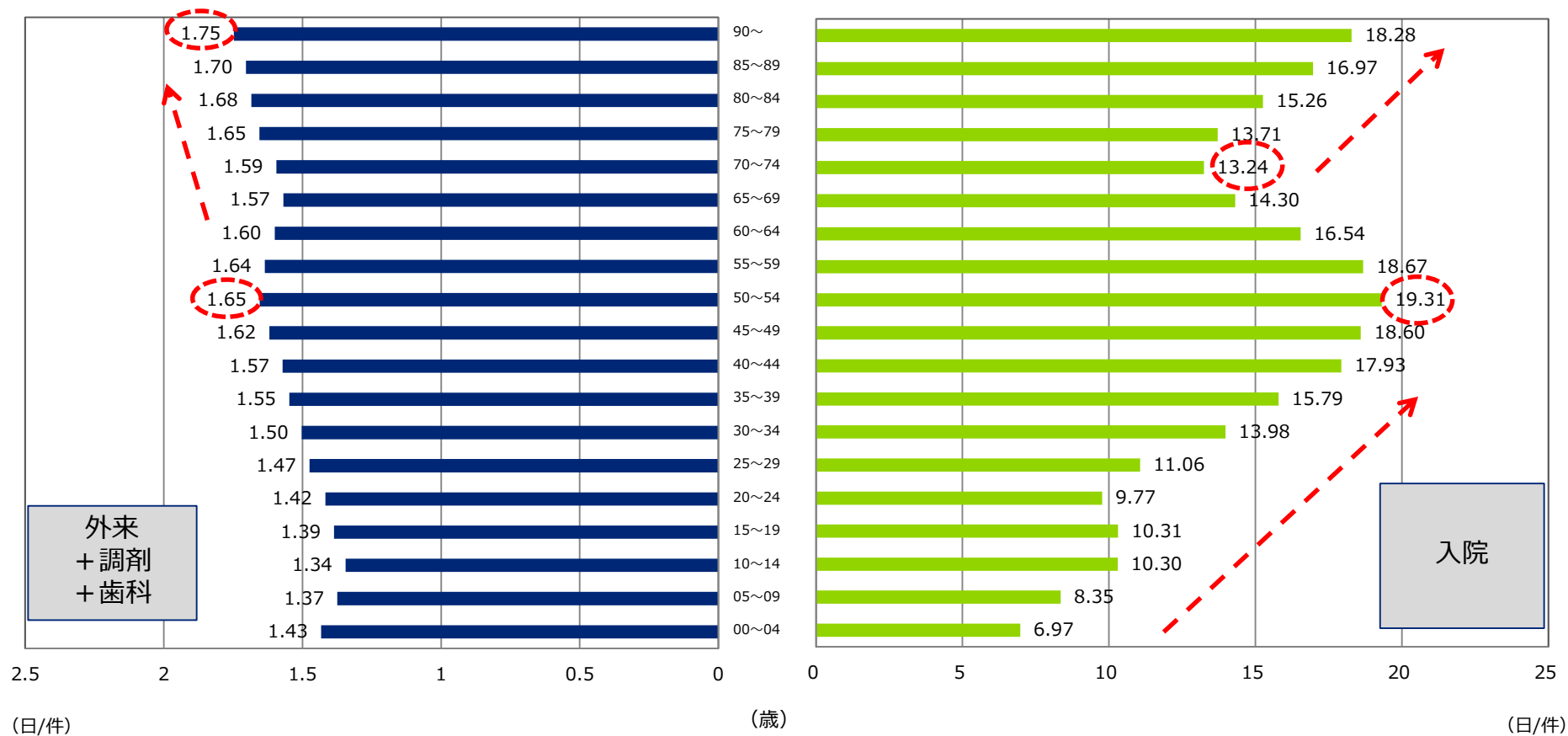


2-2 (3) . 年齢別の被保険者 1 人当たり医療費の三要素分析 (1 件当たり日数)

■ 1 件当たり日数 (診療実日数/レセプト件数)

- 入院は0～4歳の診療実日数が最も少なく、年齢と共に増加していく。50～54歳でピークを迎えた後70～74歳までは減少するが、75歳以降で再び増加に転じる。
- 外来+調剤+歯科においては10～14歳が最も少なくなっている。入院と同様に50～54歳、90歳以降にピークがあるが、入院と比較して年代間の差は小さい。

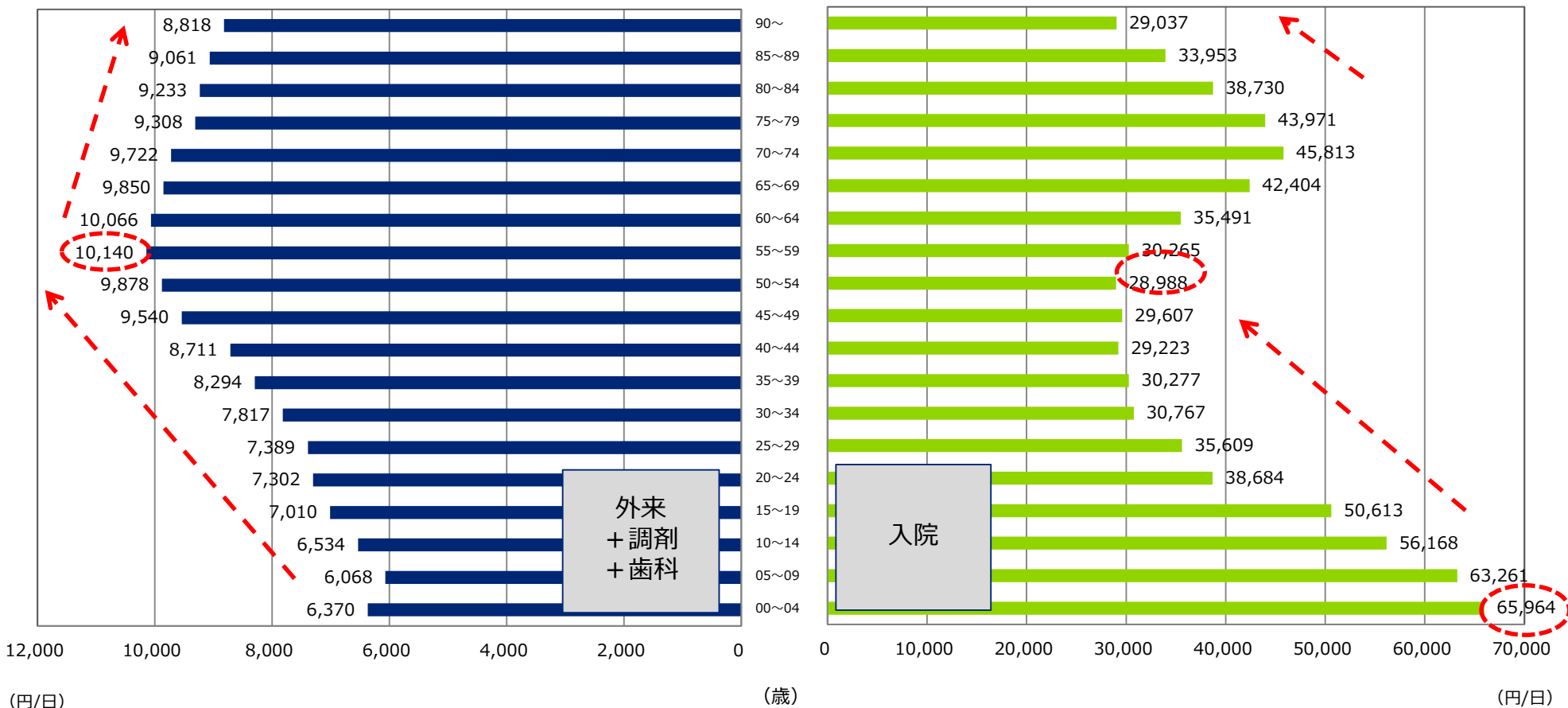


※国保+後期

2-2 (4) . 年齢別の被保険者 1 人当たり医療費の三要素分析 (1 日当たり医療費)

■ 1 日当たり医療費 (総医療費 / 診療実日数)

- 入院では、0～4歳の1日当たり医療費が最も高く65,964円で、その後50～54歳まで徐々に低下し、28,988円となっている。その後、70～74歳の45,813円まで増加したあと、減少に転じる。
- 外来+調剤+歯科では、5歳以降、加齢に伴い増加し、55～59歳の10,140円をピークに減少に転じる。



※国保+後期

第3章 疾病別の状況

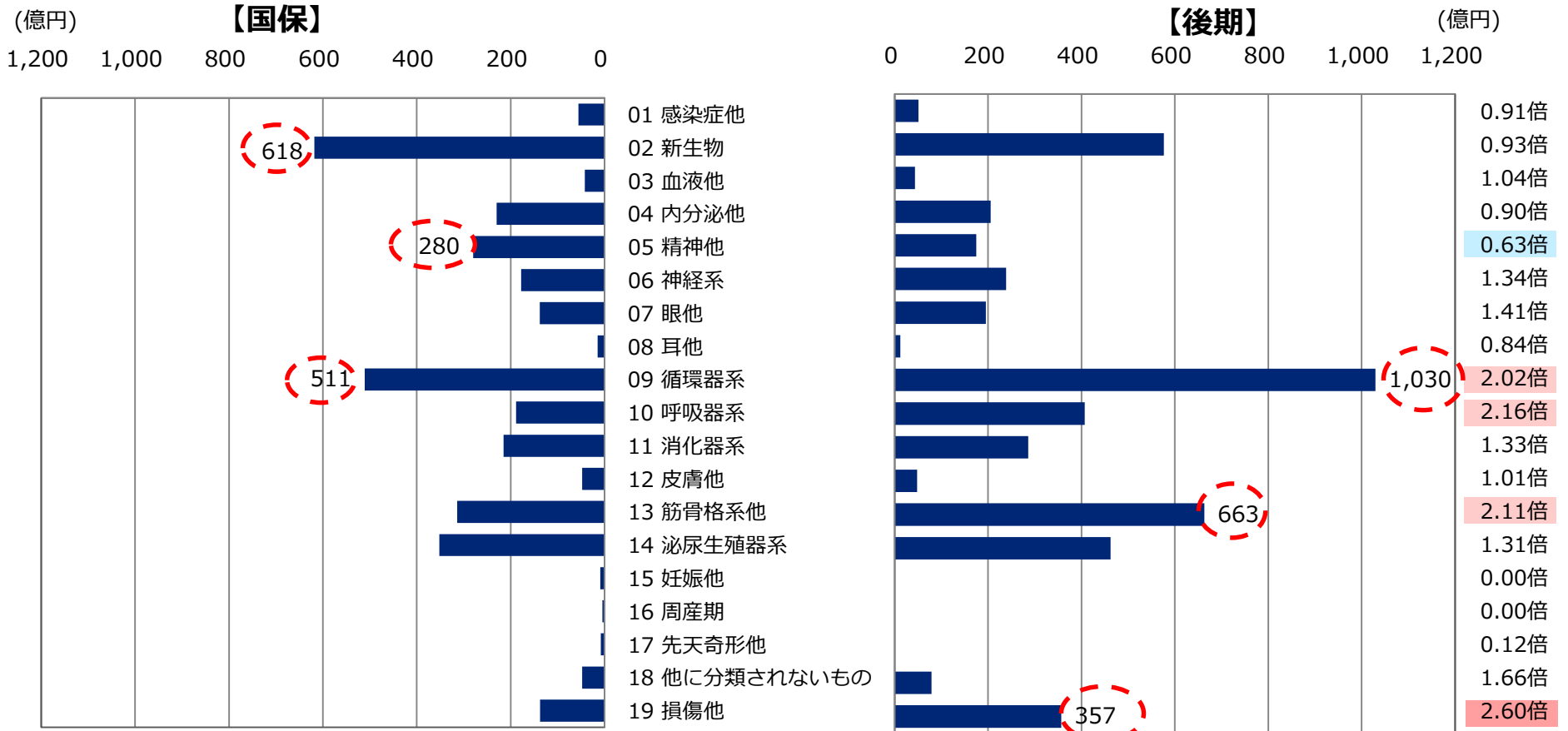
【 疾病大分類 】

- 疾病大分類 : 「ICD-10国際疾病分類」の大分類別に集計したもの。

【01 感染症他】	01 感染症及び寄生虫症
【02 新生物】	02 新生物
【03 血液他】	03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
【04 内分泌他】	04 内分泌, 栄養及び代謝疾患
【05 精神他】	05 精神及び行動の障害
【06 神経系】	06 神経系の疾患
【07 眼他】	07 眼及び付属器の疾患
【08 耳他】	08 耳及び乳様突起の疾患
【09 循環器系】	09 循環器系の疾患
【10 呼吸器系】	10 呼吸器系の疾患
【11 消化器系】	11 消化器系の疾患
【12 皮膚他】	12 皮膚及び皮下組織の疾患
【13 筋骨格系他】	13 筋骨格系及び結合組織の疾患
【14 泌尿生殖器系】	14 泌尿生殖器系の疾患
【15 妊娠他】	15 妊娠, 分娩及び産褥
【16 周産期】	16 周産期に発生した病態
【17 先天奇形他】	17 先天奇形, 変形及び染色体異常
【18 他に分類されないもの】	18 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
【19 損傷他】	19 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
【20 外因】	20 傷病及び死亡の外因
【21 保健サービスの利用】	21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
【22 特殊目的用コード】	22 特殊目的用コード

3-1. 疾病大分類別の医療費（国保／後期）

- 国保では「02 新生物」、「09 循環器系」が突出して医療費が高く、後期では「09 循環器系」、「13 筋骨格系他」の医療費が高い。特に「09 循環器系」については国保と比較して後期は倍近い医療費となっている。
- 国保と後期を比較すると、国保では「05 精神他」、後期では、「19 損傷他」、「13 筋骨格系」についての医療費の高さが他方には見られない特徴として挙げられる。



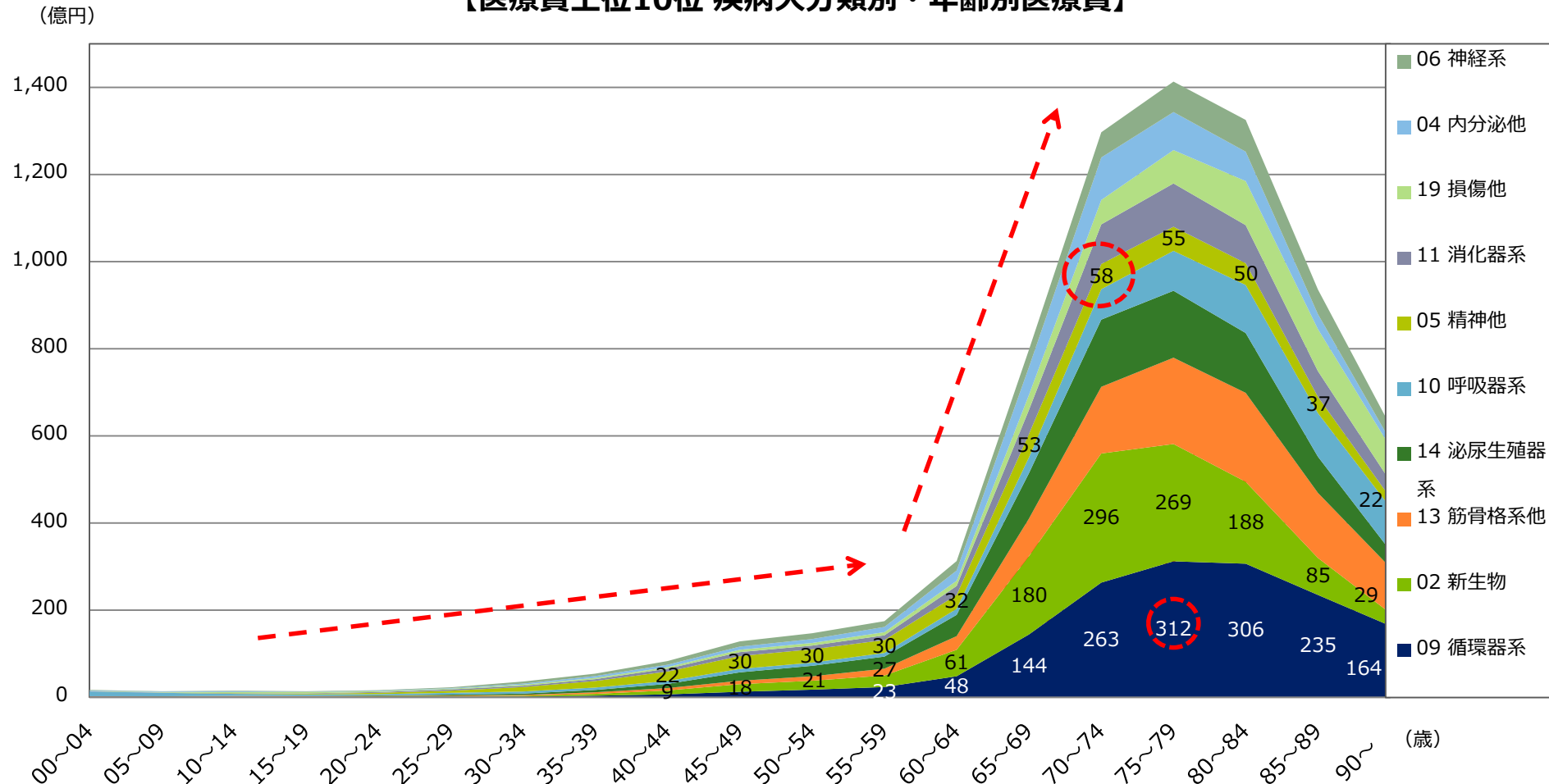
後期医療費
÷ 国保医療費

※疾病大分類は略称表記。正式名称はP22参照
※入院+外来+調剤+歯科

3-2. 疾病大分類別の医療費（県上位10位疾病）の年齢別の総額

- 疾病ごとの医療費をみると、被保険者が増加する60歳から急激な上昇をし、75～79歳で最も高くなっている。特に「09 循環器系」が占める割合は多く、全体に対する割合は増加を続ける。
- 「05 精神他」に係る医療費は、80歳以降から減少する。
- 「02 新生物」に係る医療費は、60歳以降から増加し、80歳以降で減少に転じる。

【医療費上位10位 疾病大分類別・年齢別医療費】



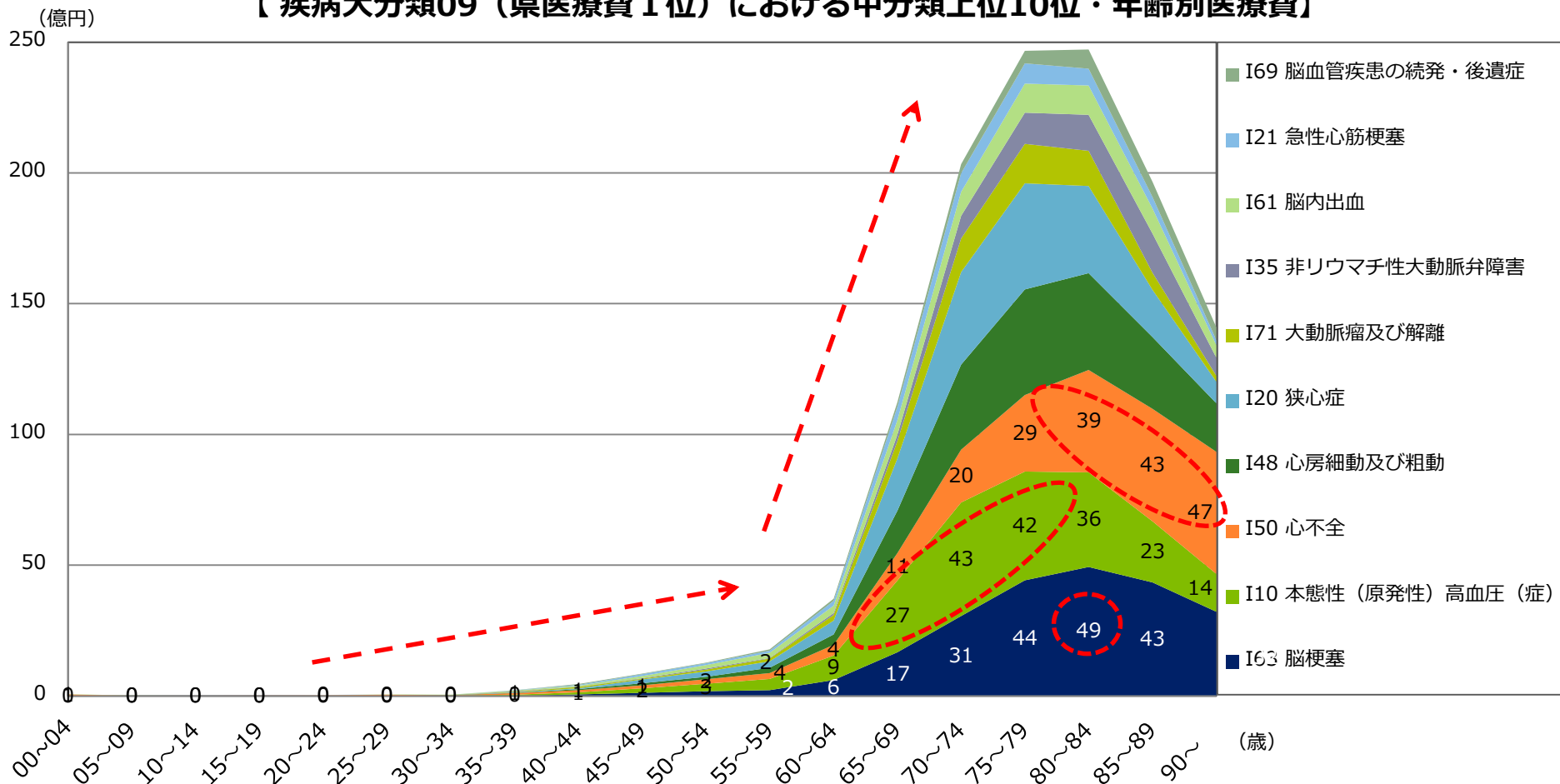
※国保+後期

※入院+外来+調剤+歯科

3-3 (1) . 疾病大分類 1位の疾病中分類別の医療費（県上位10位疾病）の年齢別の総額

- 県医療費 1位の疾病大分類「09 循環器系」を疾病中分類別に医療費をみると、85歳までは特に「I63 脳梗塞」の伸びが大きい。85歳以降は「I50 心不全」が全体に対する割合が増加する。
- 「I10 本態性（原発性）高血圧（症）」に係る医療費は、80歳以降から減少する。

【疾病大分類09（県医療費 1位）における中分類上位10位・年齢別医療費】

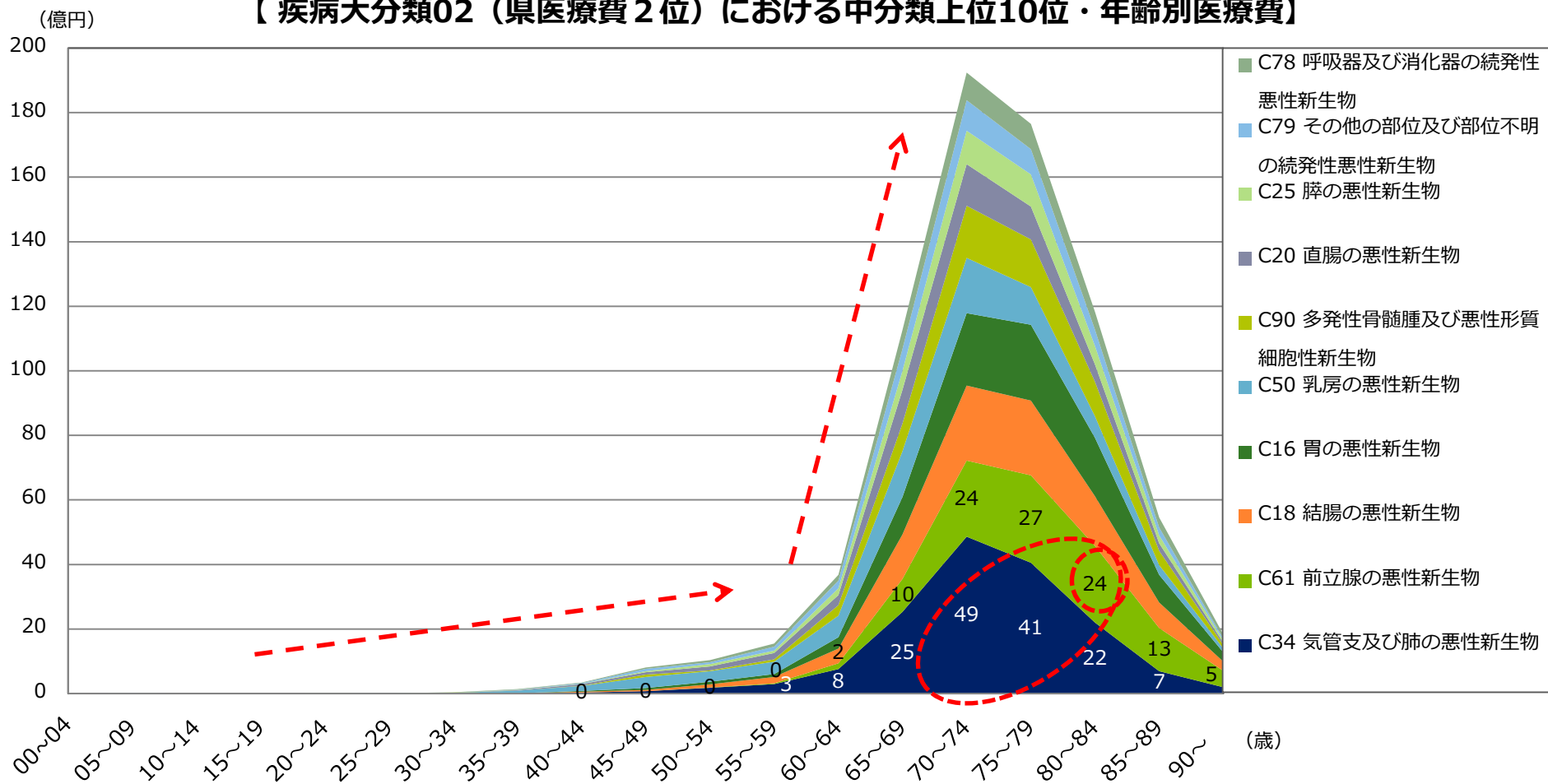


※国保+後期
※入院+外来+調剤+歯科

3-3 (2) . 疾病大分類 2 位の疾病中分類別の医療費（県上位10位疾病）の年齢別の総額

- 県医療費 2 位の疾病大分類「02 新生物」を疾病中分類別に医療費をみると、80歳までは「C34 気管支及び肺の悪性新生物」が多くを占める。80歳以降は「C61 前立腺の悪性新生物」の割合が多くなる。

【 疾病大分類02（県医療費 2 位）における中分類上位10位・年齢別医療費】



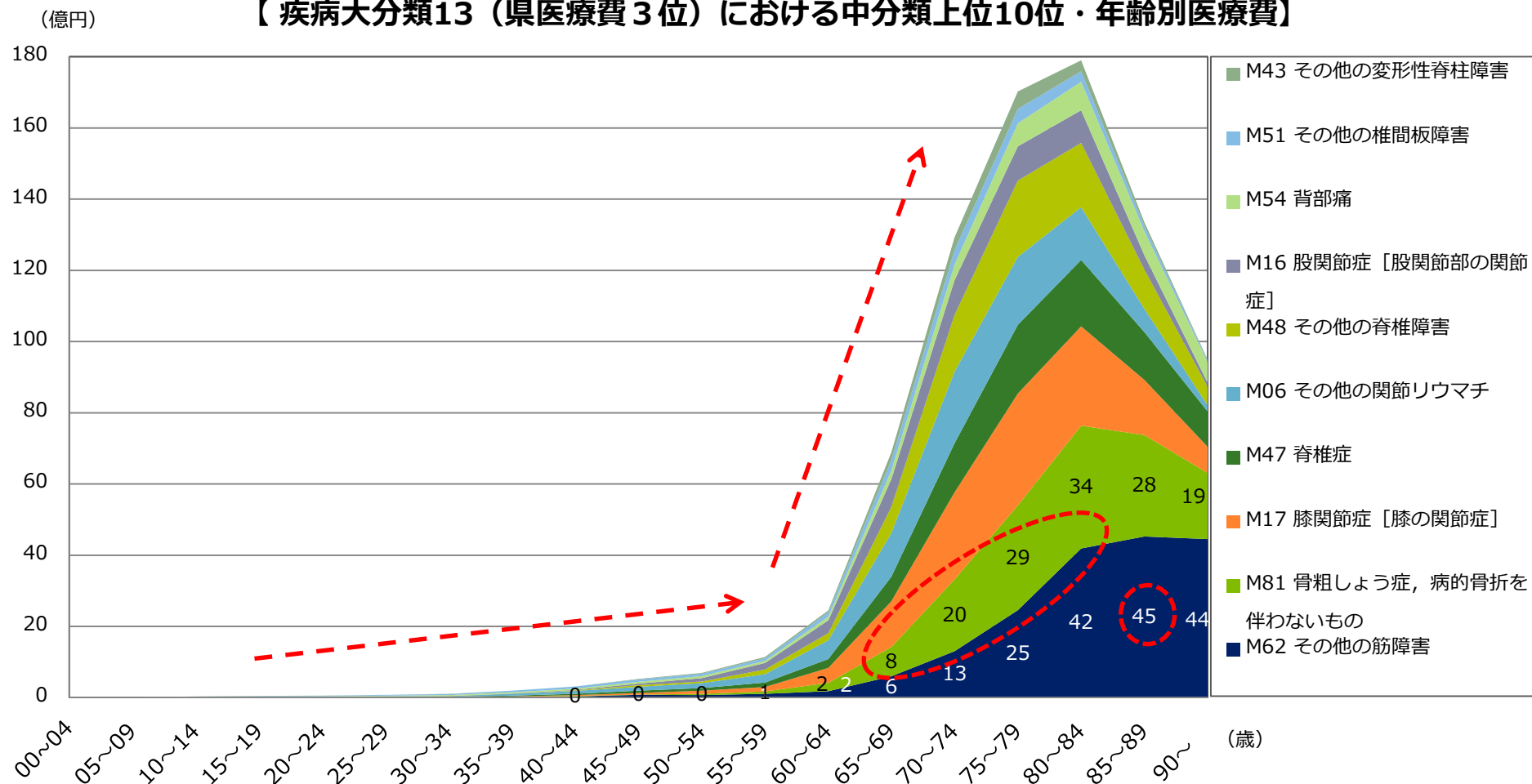
※国保+後期

※入院+外来+調剤+歯科

3-3 (3) . 疾病大分類3位の疾病中分類別の医療費（県上位10位疾病）の年齢別の総額

- 県医療費3位の疾病大分類「13 筋骨格」を疾病中分類別に医療費をみると、年齢の増加につれて「M62 その他の筋障害」（例えば「詳細不明の筋障害」など）が多い。次に「M81 骨粗しょう症,病的骨折を伴わないもの」が多くを占めている。

【 疾病大分類13（県医療費3位）における中分類上位10位・年齢別医療費】



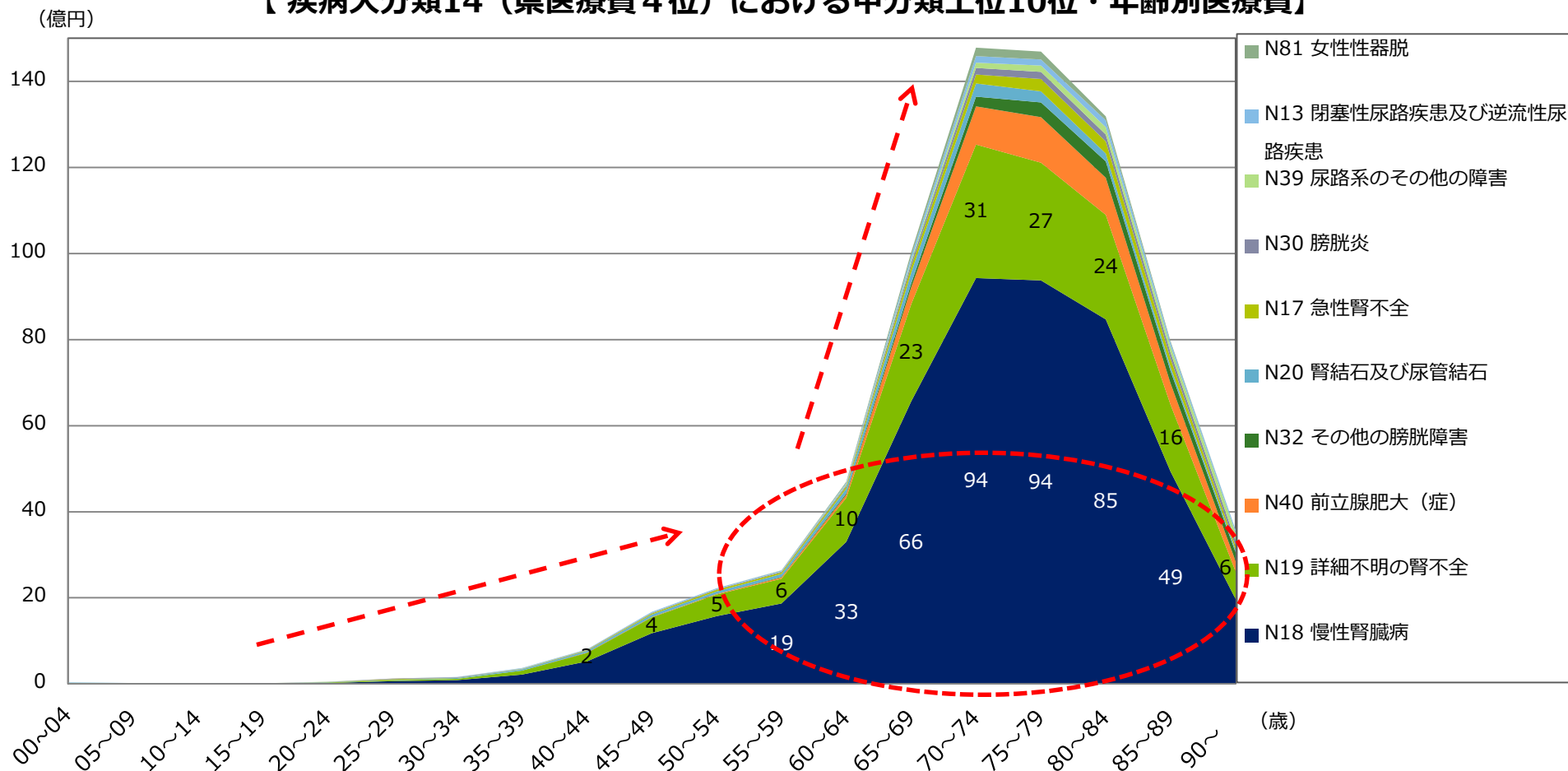
※国保+後期

※入院+外来+調剤+歯科

3-3 (4) . 疾病大分類4位の疾病中分類別の医療費（県上位10位疾病）の年齢別の総額

- 県医療費4位の疾病大分類「14 腎尿路系」を疾病中分類別に医療費をみると、全年齢で「N18 慢性腎臓病」が多くを占める。次に「N19 詳細不明の腎不全」が多い。

【 疾病大分類14（県医療費4位）における中分類上位10位・年齢別医療費】



※国保+後期

※入院+外来+調剤+歯科